



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Sep.2020

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

最近よくHSPという言葉を目にする事が多くなった。HSPとはハイリー・センシティブ・パーソンの頭文字であり「視覚や聴覚などの感覚が敏感で、非常に感受性が豊かといった特徴を生得的に持っている人」の事を言う。全人口の4人に1人がHSPと言われているが、その割にはこれまであまり耳にしてこなかった。これもやはりコロナ禍により、周りに対して敏感になったことが要因と考えるが、「ものごとを深く考える」などの特徴は逆に強みである。このコロナ禍で考えずに行動する人の方が普通ではないと思う。

サンシン電気株式会社 取締役
河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

今年も1年間、つぶやきの投稿ありがとうございました。私も皆様のつぶやきを拝見して、参考になることも多くありました。まだまだコロナ禍の終息は見えませんが、来期もどうぞ宜しくお願い致します。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

The most important concept in protecting the environment is "simplicity." Simplify your life and that will protect the environment. When you wish for something, ask yourself these TWO questions: Is it needed? Is it wanted? (J.L.)

CSI

セブは今も建設ラッシュで都市計画が行われています。ニューブリッジに隣接する道路拡張工事が始まっております。立体交差点にするといわれています。コロナの影響で現在はストップしており、早く再開され渋滞が解消されることを期待しています。(K.S.)

SANSHINWest

ジェンダー平等の取り組みで日本は世界で121位。社会への女性参画は少しずつ進みつつあるものの各企業の取り組みが殆どで、法的な仕組み・家庭や地域での仕組みは整っているとは言えない。男尊女卑な価値観が薄れ、性的少数者や障害のある方も含め平等に自由に生活ができる環境の構築が望まれる。(N.K.)

SHINKOWA

先日、非常に勢力が大きい台風10号が九州・奄美地方を通過し、また被害が発生しました。去年、関東地方を襲った台風15号を思い出し災害時用の備品や食料の確認をしました。今後の台風は関東寄りになってきますので皆様も災害用備品の確認と補充をしましょう。(M.N.)

SC2

インクジェットプリンタ用のカートリッジ。安いからとリサイクル品を買う人がいますがお勧めしません。プリンタ本体の不具合が出てうまく使えないだけでなく、印刷した時の臭いがまったく違うのです。健康被害が出そうな臭いといえば良いでしょうか(汗) インクだけでなくすべてにおいて、安全なものを選ぶ目を養いましょう。(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

ミネラルウォーターの賞味期限

災害に備えて備蓄用に保管していた水が、気が付いたら賞味期限が切れていたことはありませんか。賞味期限を過ぎた水は飲めないのでしょうか？ 市販のミネラルウォーターには賞味期限がありますが、メーカーや種類によって何が違うのでしょうか。

1. 「消費期限」と「賞味期限」の違い

日本では、加工食品に期限表示をすることになっており、その表示には、「消費期限」と「賞味期限」があります。

「消費期限」は、未開封かつ表示されている方法で保存した場合に、安全に食べることができる期限を表しています。

一方で、「賞味期限」は、未開封かつ表示されている方法で保存した場合、この時期までは“美味しく飲食できます”という期限です。

天然水やミネラルウォーターは、市販のペットボトルやウォーターサーバーの宅配水などは「賞味期限」が表記されています。

2. 品質劣化というより、内容量が変ってしまうための「期限」

ペットボトルの水は、多くが濾過や加熱の工程を経ることにより、雑菌を取り除いています。雑菌が入り込んだ水は品質が劣化するが、雑菌のない水が腐敗することは、外部から異物が侵入しない限りありません。未開封で、高温高湿のところを避けて保存されていたペットボトルの水ならば、基本的に何年も持ちます。ただしペットボトルの容器は通気性がある為、長期保存している過程で、容器を通じて水が蒸発していきます。その結果、印字してある内容量が減っていきます。

飲食品は、食品衛生法や食品表示法などの法律に「計量法」があります。表示した内容量よりも少ないとなると、計量法違反となる。

したがって、印字してある容量を保てる期間を「賞味期間」ということで期間を区切っているということです。

ミネラルウォーターに関しては、「賞味期間(美味しく飲める)」というのは、厳密に言えば、正しくないかもしれません。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

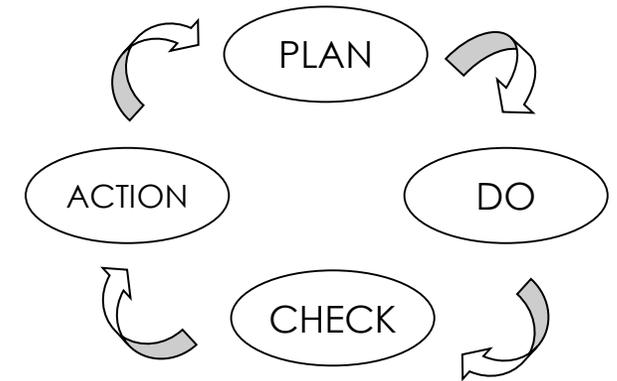
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



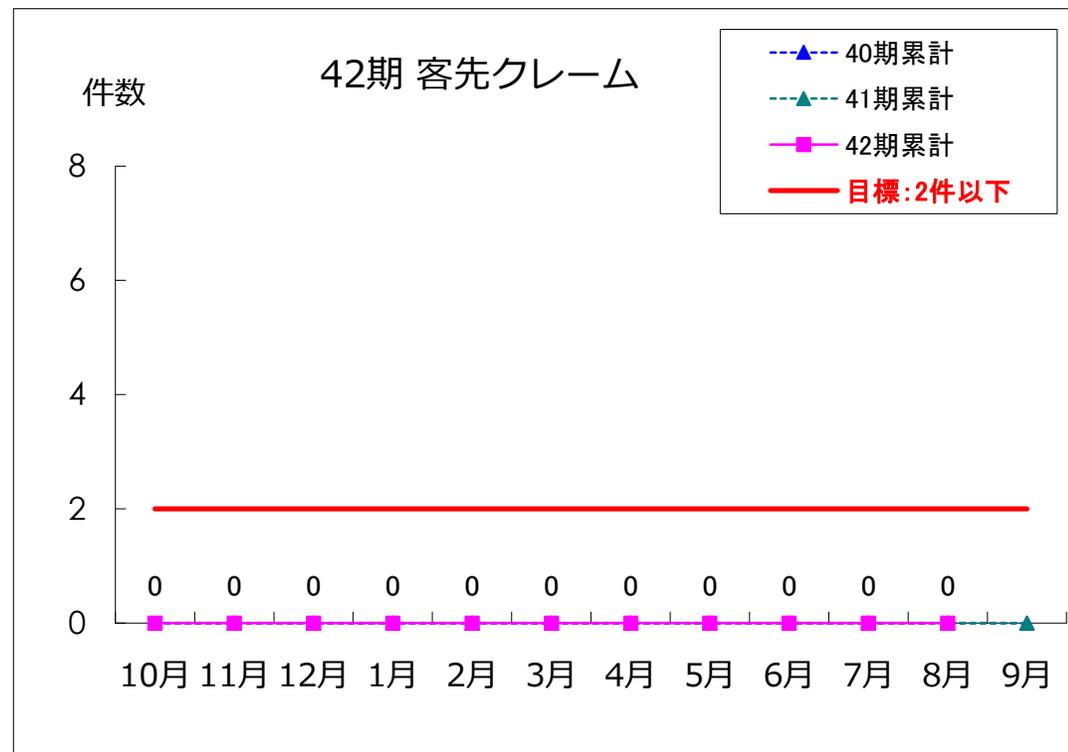
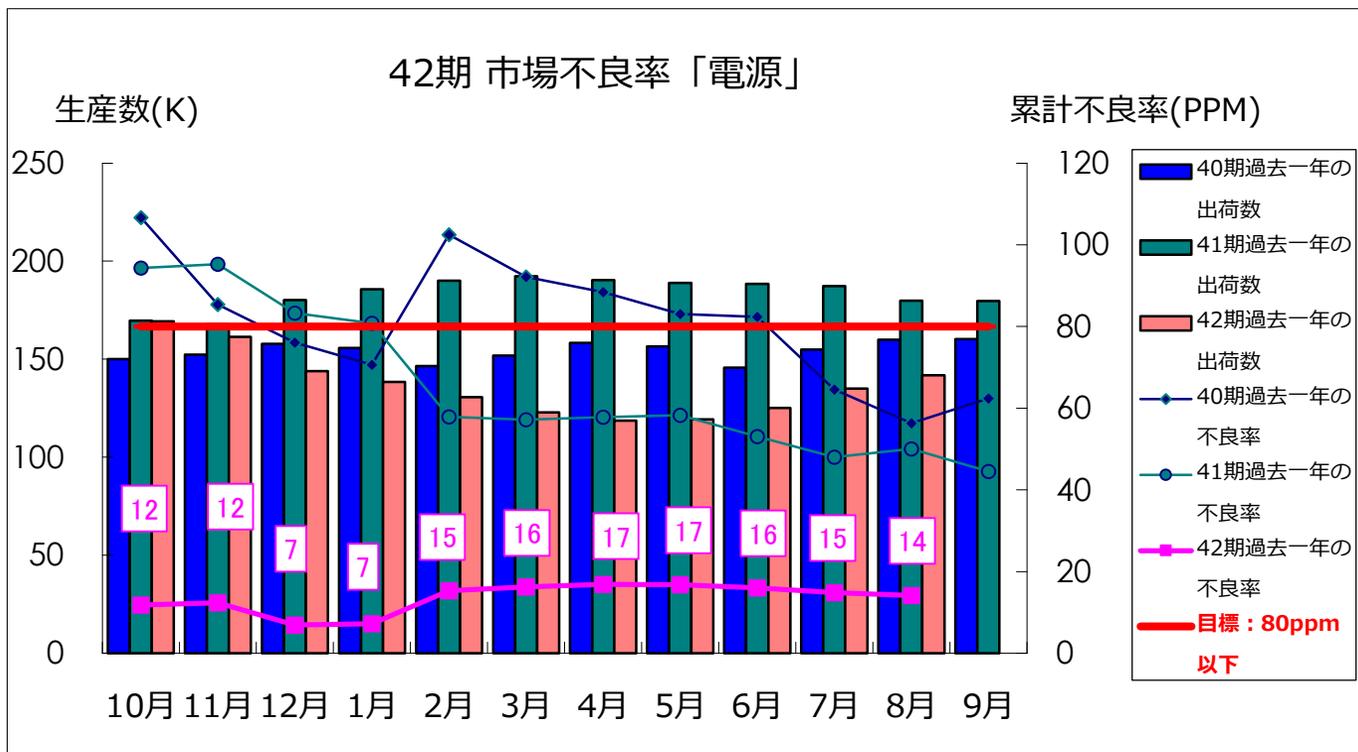
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

42期の累計不良率は、14ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 台風の番号とアジア名の付け方

今シーズンも数多くの台風が発生し、また日本列島にも上陸しました。天気予報などでも台風を~号ではなく名前と呼んでいるのを聞いたこともあるかと思いますが、今回はその名前付け方について取り上げます。

1. 台風の番号の付け方

気象庁では毎年1月1日以後、最も早く発生した台風を第1号とし、以後台風の発生順に番号をつけています。なお、一度発生した台風が衰えて「熱帯低気圧」になった後で再び発達して台風になった場合は同じ番号を付けます。

2. 台風のアジア名の付け方

台風には従来、米国が英語名（人名）を付けていましたが、北西太平洋または南シナ海で発生する台風防災に関する各国の政府間組織である台風委員会（日本含む14カ国等が加盟）は、平成12年（2000年）から、主に下に記すことを目的として、北西太平洋または南シナ海の領域で発生する台風には、同領域に共通のアジア名として、同領域内で用いられている固有の名前（加盟国などが提案した名前）を付けることになりました。

- 国際社会への情報に台風委員会が決めた名前をつけて、それを利用してもらうことによって、アジア各国・地域の文化の尊重と連帯の強化、相互理解を推進すること
- アジアの人々になじみのある呼び名をつけることによって人々の防災意識を高めること

平成12年の台風第1号にカンボジアで「象」を意味する「ダムレイ」のアジア名が付けられ、以後、発生順にあらかじめ用意された140個のアジア名を順番に用いて、その後再び「ダムレイ」に戻ります。台風の年間発生数の平年値は25.6個ですので、おおむね5年間で台風のアジア名が一巡することになります。

今月のTOPICS

140個のアジア名のうち日本からは、星座名に由来する名前10個を提案しています。星座名を提案した理由として、特定の個人・法人の名称や商標、地名、天気現象名でない「中立的な」名称であること、「自然」の事物であって比較的利害関係が生じにくいこと、大気現象である台風とイメージ上の関連がある天空にあり、かつ、人々に親しまれていることが挙げられます。また、アジア名として採用するには、文字数が多過ぎないこと（アルファベット9文字以内）、音節が多なくて発音しやすいこと、他の加盟国・地域の言語で感情を害するような意味を持たないことなどの条件もあります。

なお、台風のアジア名は繰り返し使用されますが、大きな災害をもたらした台風などは、台風委員会の加盟国・地域からの要請を受けて、そのアジア名を以後の台風に変更しないように変更することがあります。また、発達した熱帯低気圧が東経180度より東の領域から、または東経100度より西の領域から北西太平洋域に進入してきた場合には、各領域を担当する気象機関によって既に付けられた名前を継続して使用します。このため、下の表に記されない名前が付けられた台風もあります。

3. 気象庁における台風の表記

気象庁では国内の一般向けの情報や刊行物において、「平成12年台風第1号」のように元号及びその年数と台風の番号を並べて表記します。ただし、和暦ではなく西暦を用いる場合や年の表記を省略する場合（年が明らかである時など）もあります。また、台風を英語で表記する場合は台風のアジア名を用います。

Tropical Cyclone (TC) や台風期間中の最大強度（風速）に応じた階級

- ・ Tropical Storm (TS) : 最大風速34ノット以上48ノット未満
- ・ Severe Tropical Storm (STS) : 最大風速48ノット以上64ノット未満
- ・ Typhoon (TまたはTY) : 最大風速64ノット以上

を台風のアジア名の前に付す場合もあります。さらに、台風名は繰り返し使用されますが、台風名の後に（(T) 西暦年下二桁 台風の番号）を併記することで、特定の台風を表すことができます。例えば、平成12年台風第1号（台風名はDamrey）の階級はTyphoonであるため、「Typhoon Damrey」、「TY Damrey (0001)」、「Damrey (T0001)」等と表記します。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

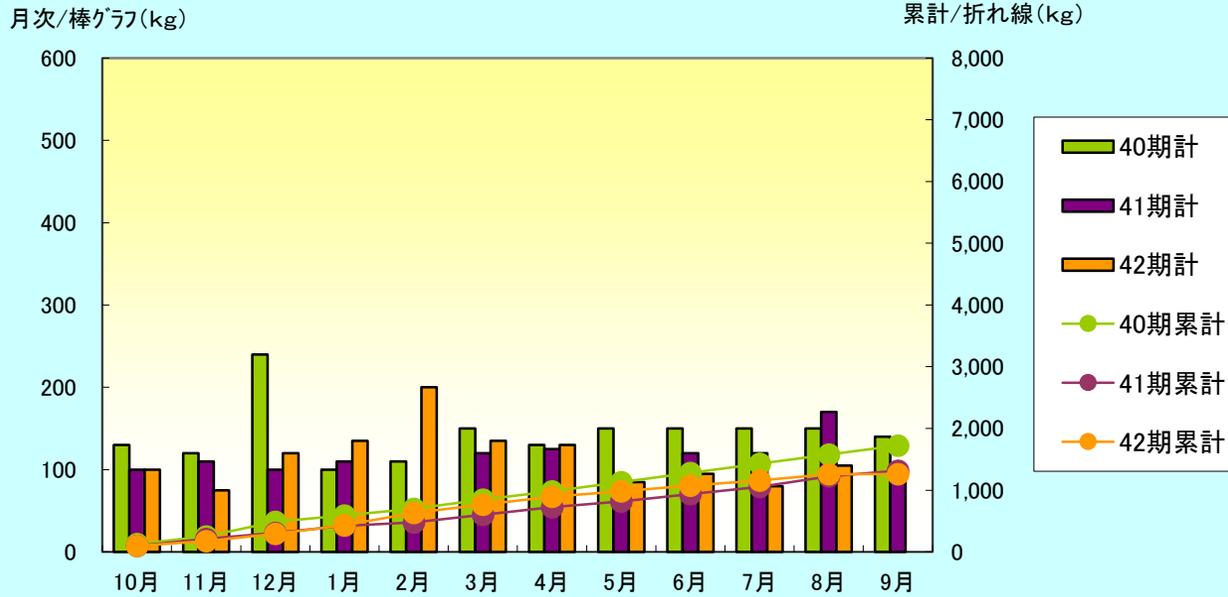
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

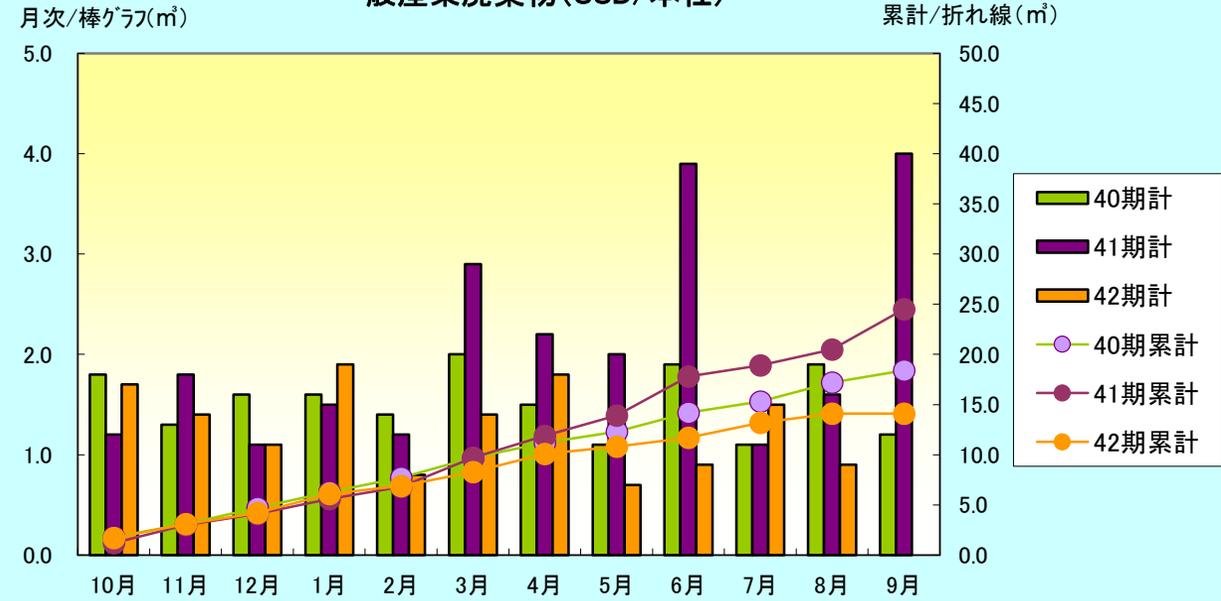
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



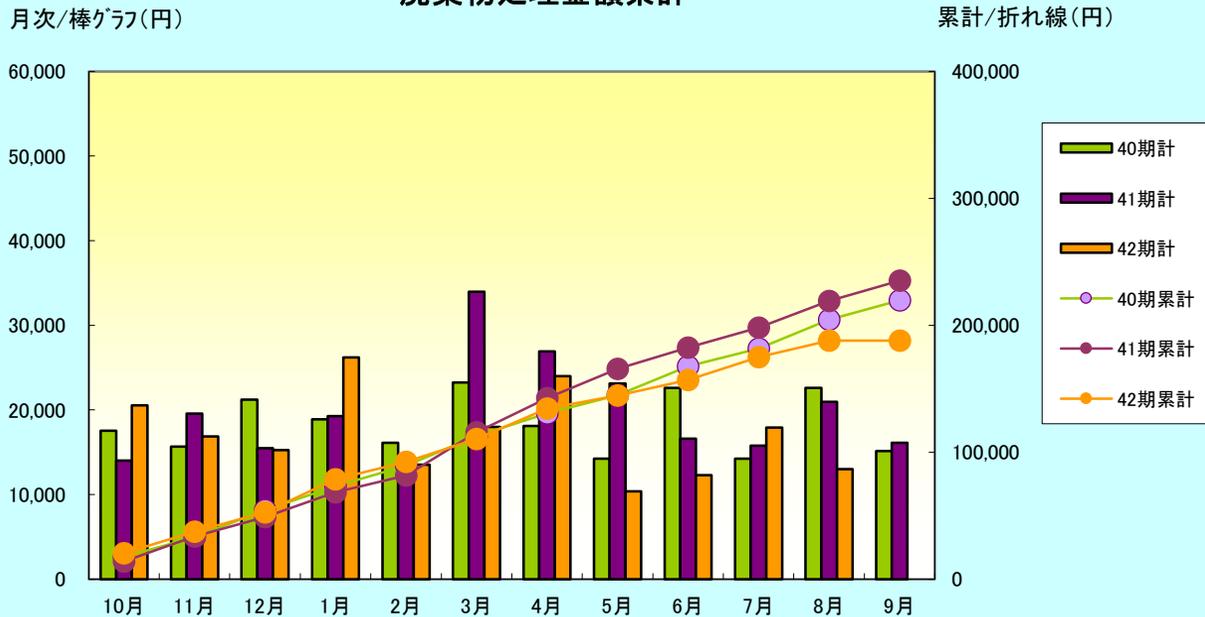
一般廃棄物(SSD/本社)



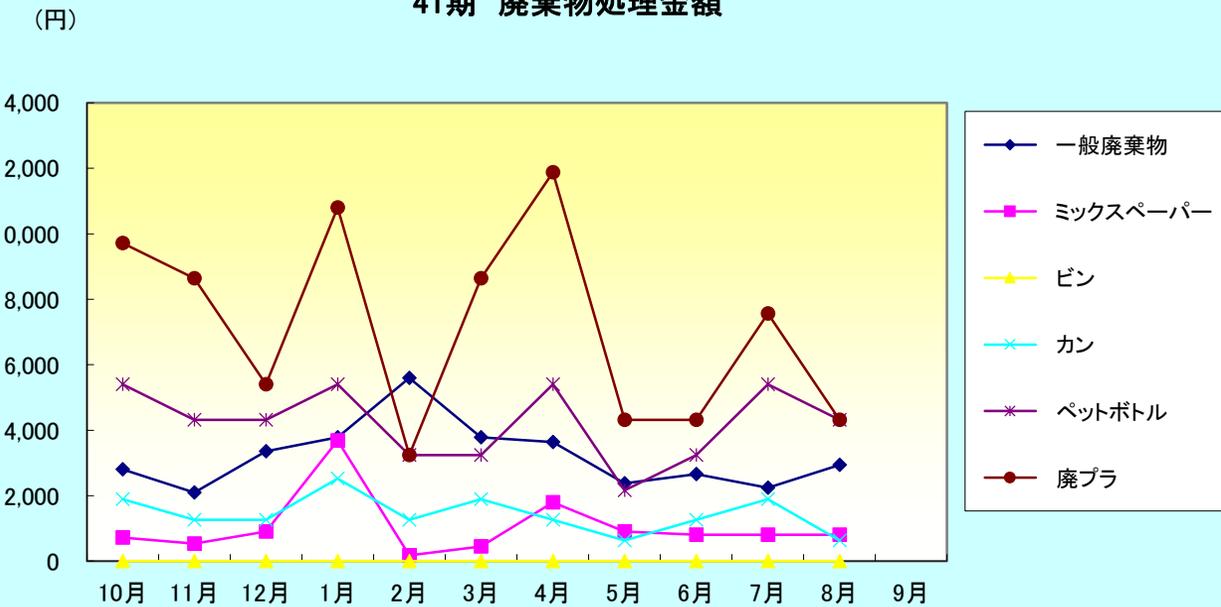
一般産業廃棄物(SSD/本社)



廃棄物処理金額累計



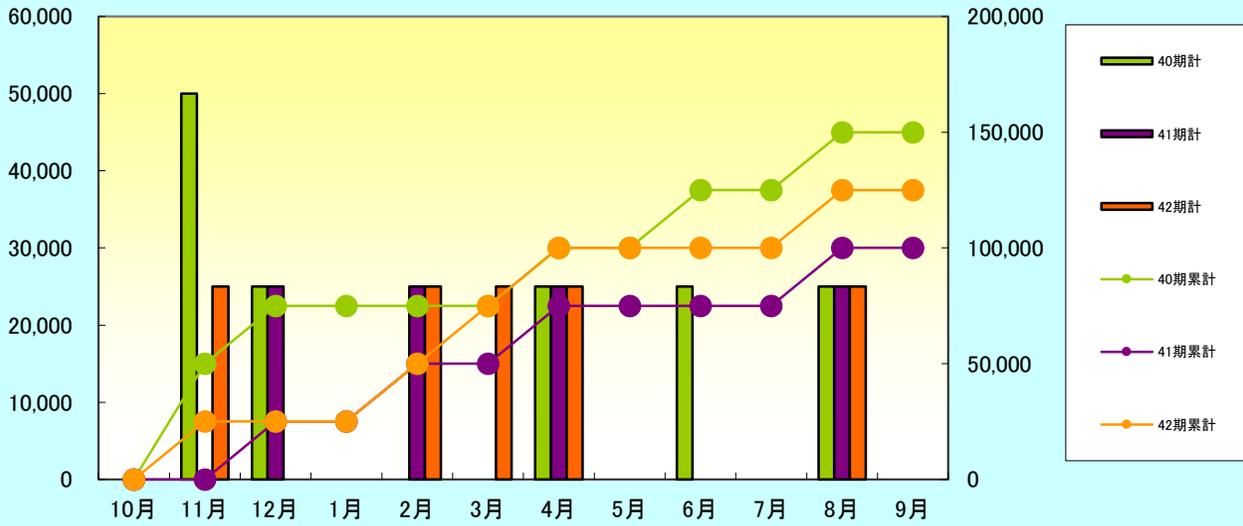
41期 廃棄物処理金額



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

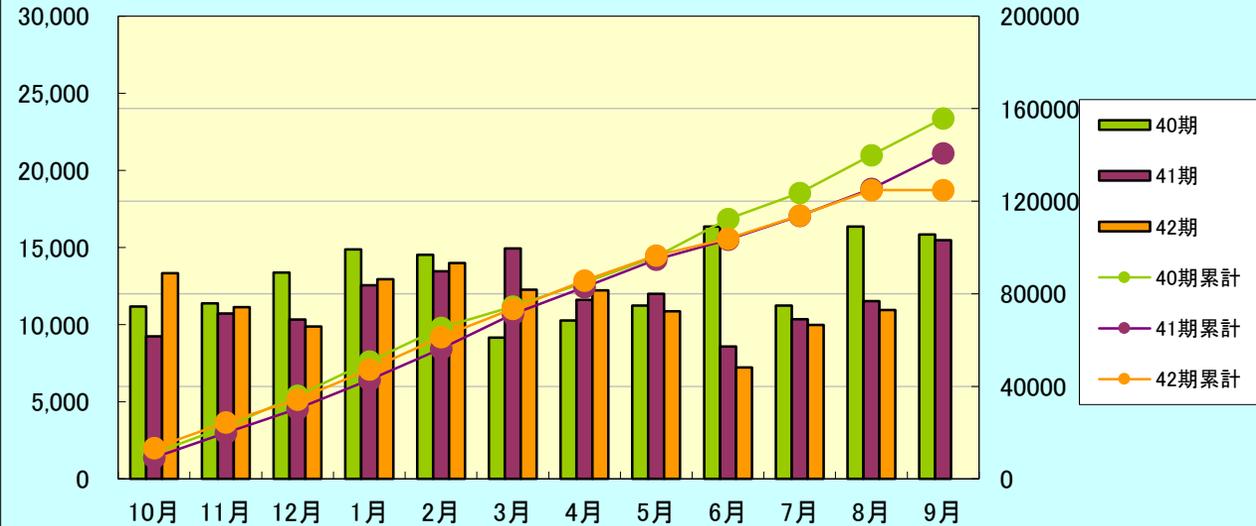
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

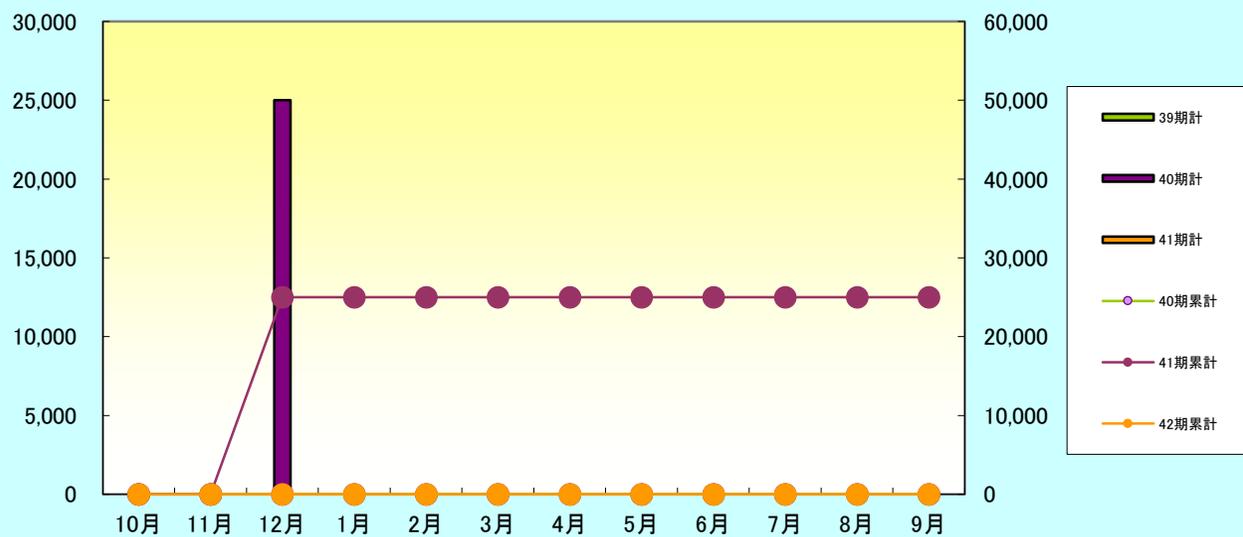
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

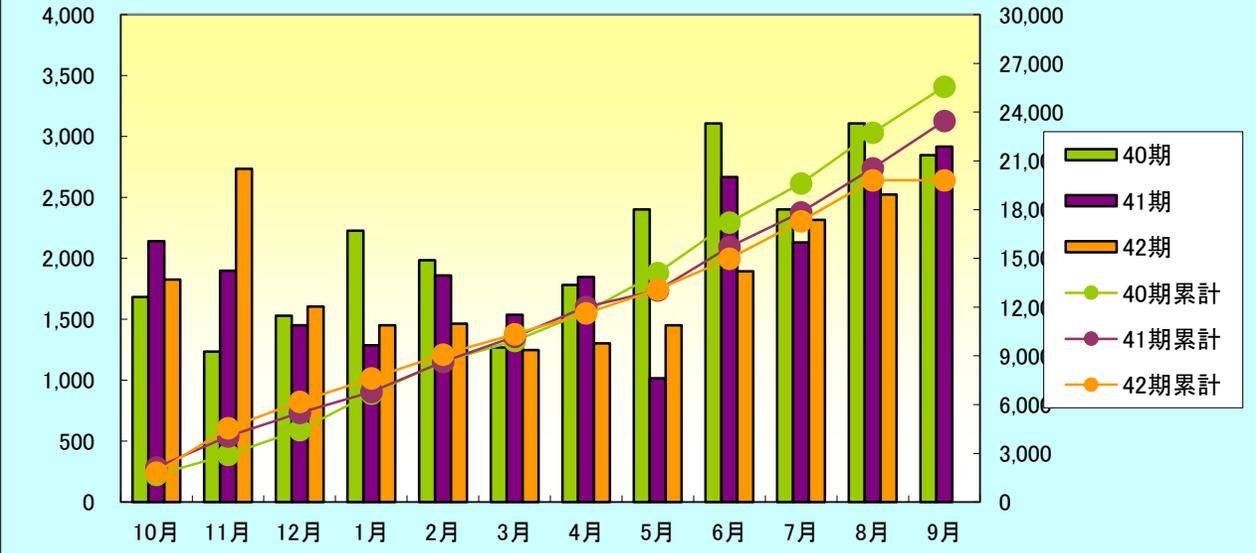
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

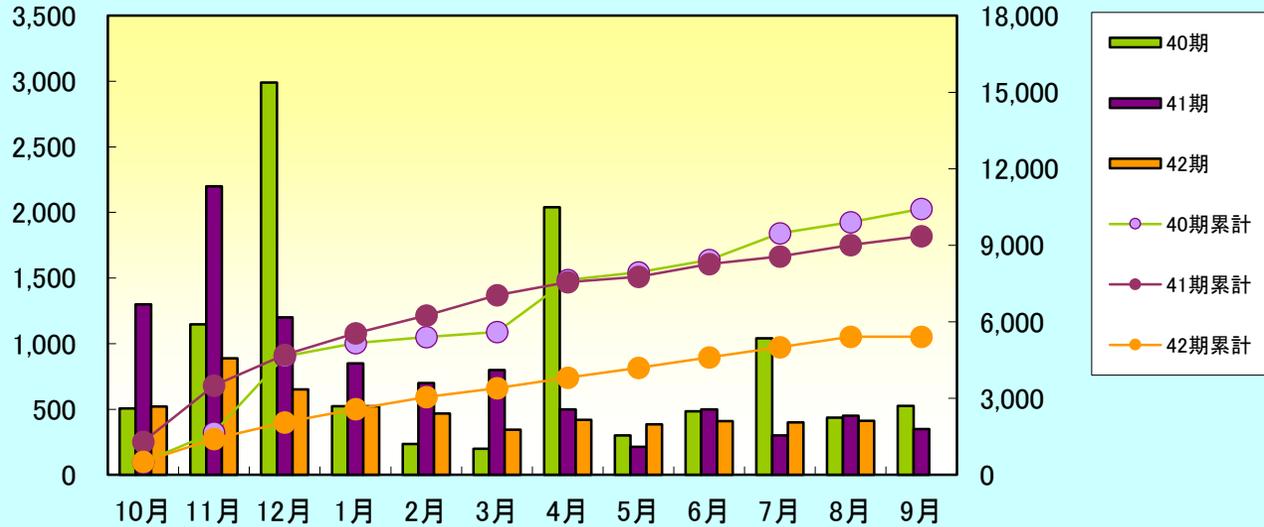
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

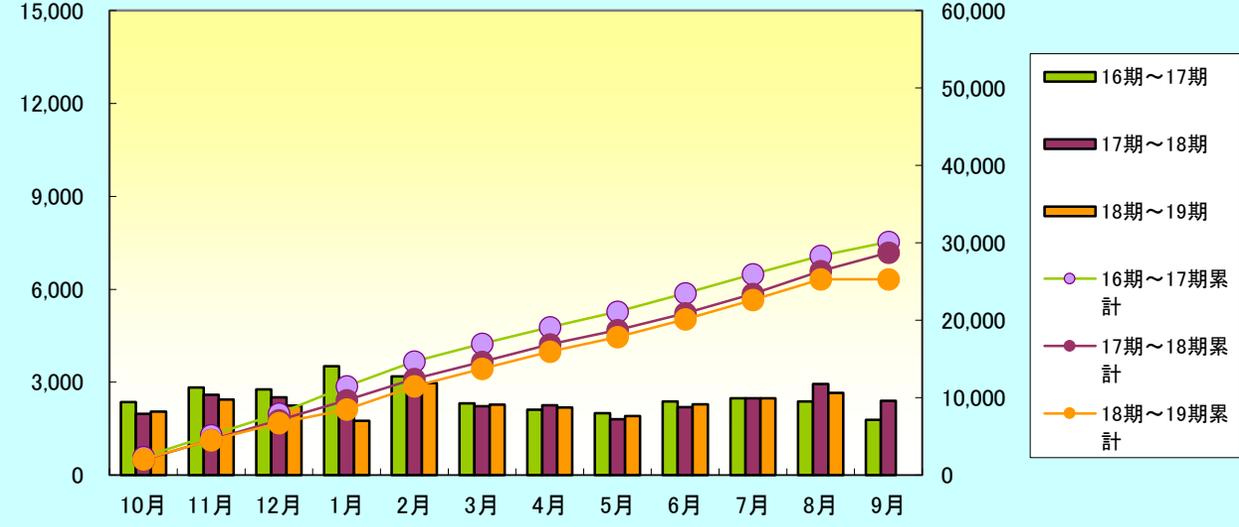
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

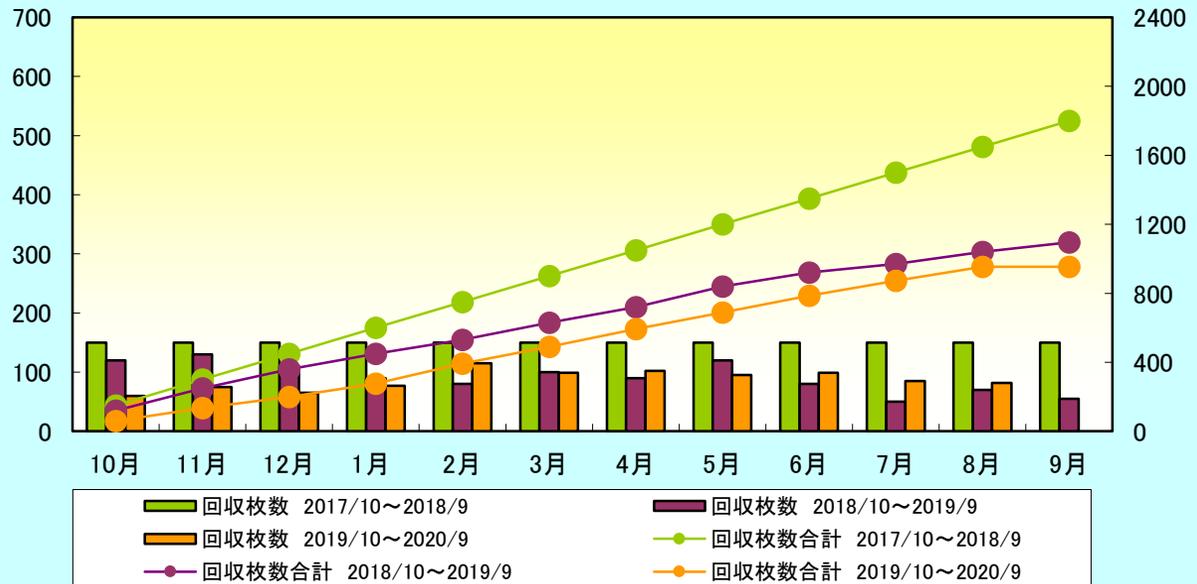
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

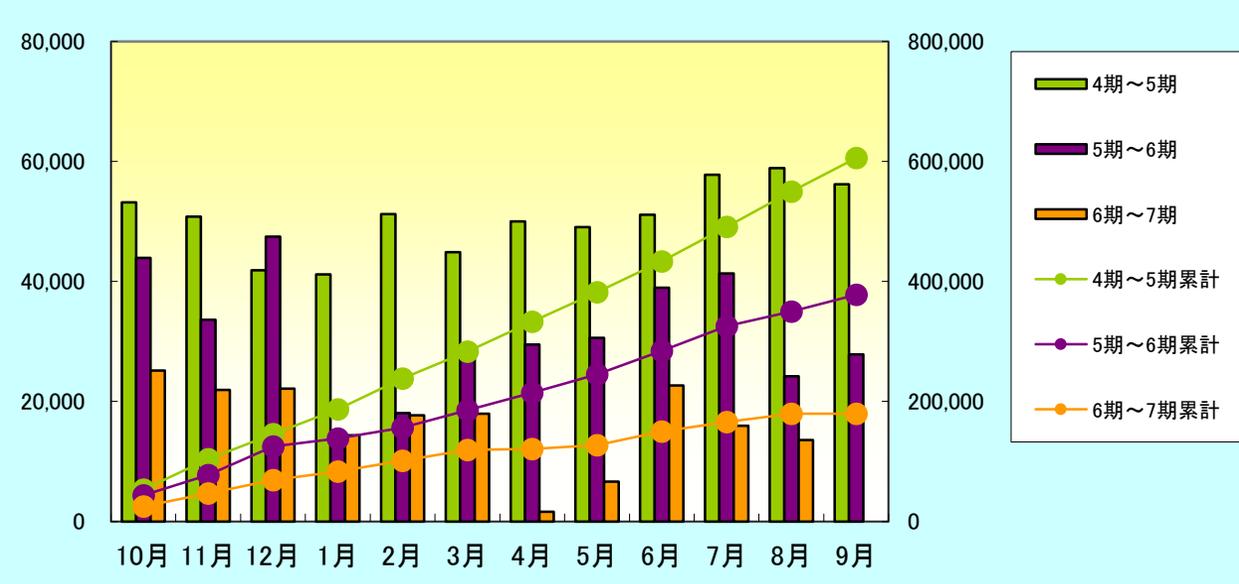
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 『SANSHIN大学～マネジャー養成講座（全6回）～』 開講中

2020年7月22日から、サンシングループ代表・石井宏宗氏を講師としてビジネス実務セミナー「マネジャー養成講座～マーケティングの基礎と応用～」を、毎月1回開講中です。

この講座は、5月15日に開講しましたビジネス実務セミナー「マネジャー養成講座～社長が教える経営学～」に続く第2弾として、7月から12月まで毎月1回開講、全6回のコースとなっています。

講座では、『コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント（第12版）』をテキストとして使用し、1章ずつ参加者が実務と関連付けて発表した後、講師と参加者間でディスカッションを行い、即座に実践応用できるよう活発な意見交換を行っています。

いずれの講座もマネジャー及び次期マネジャー候補が、国内外からWEB会議システムにて参加しています。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（8月参加人数：延べ6名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ

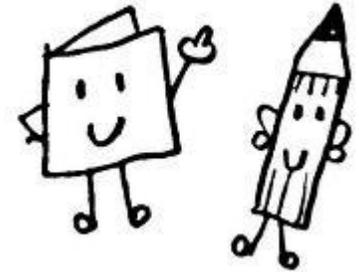


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2020年5月更新）⇒4年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



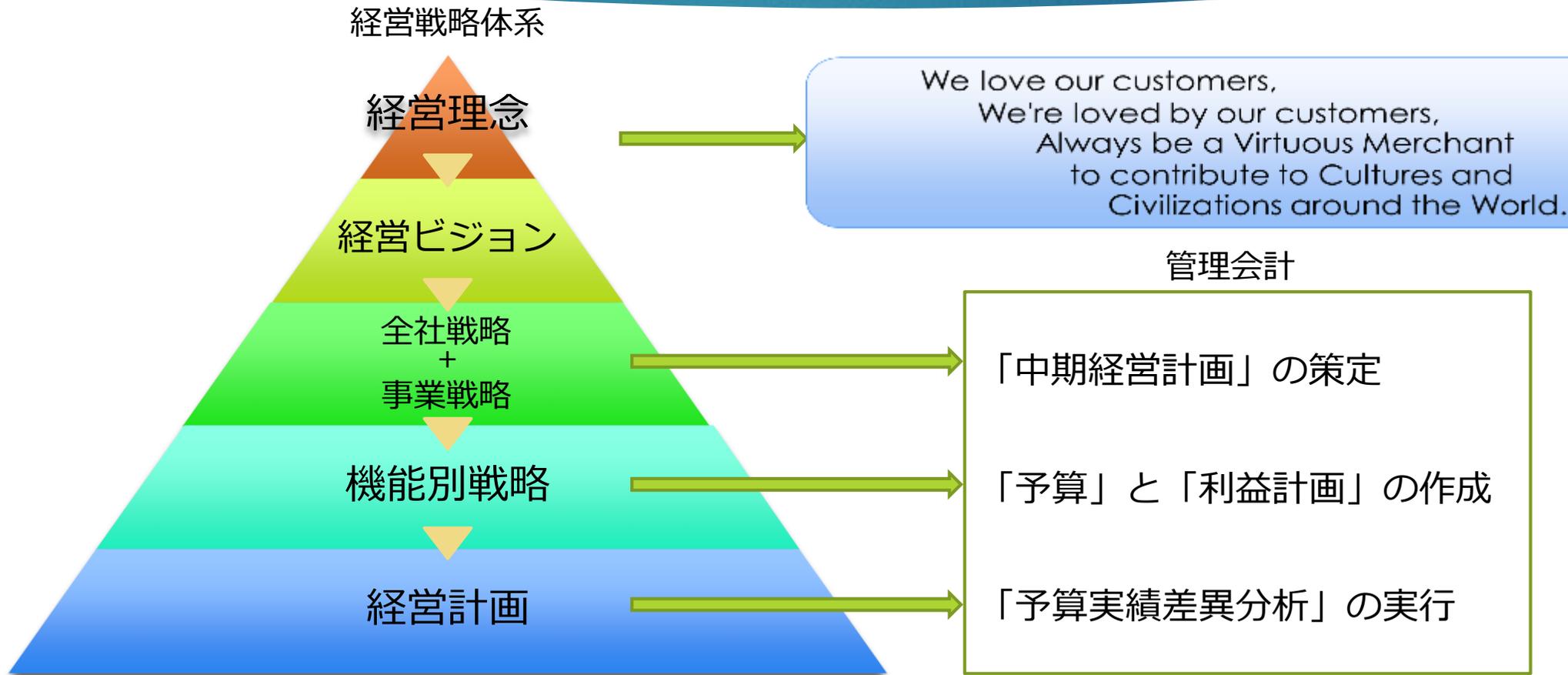
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

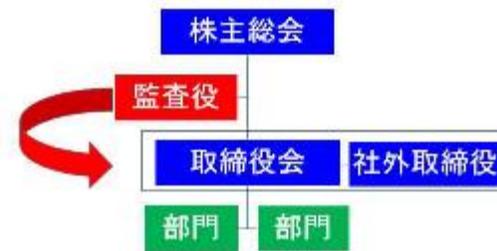
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

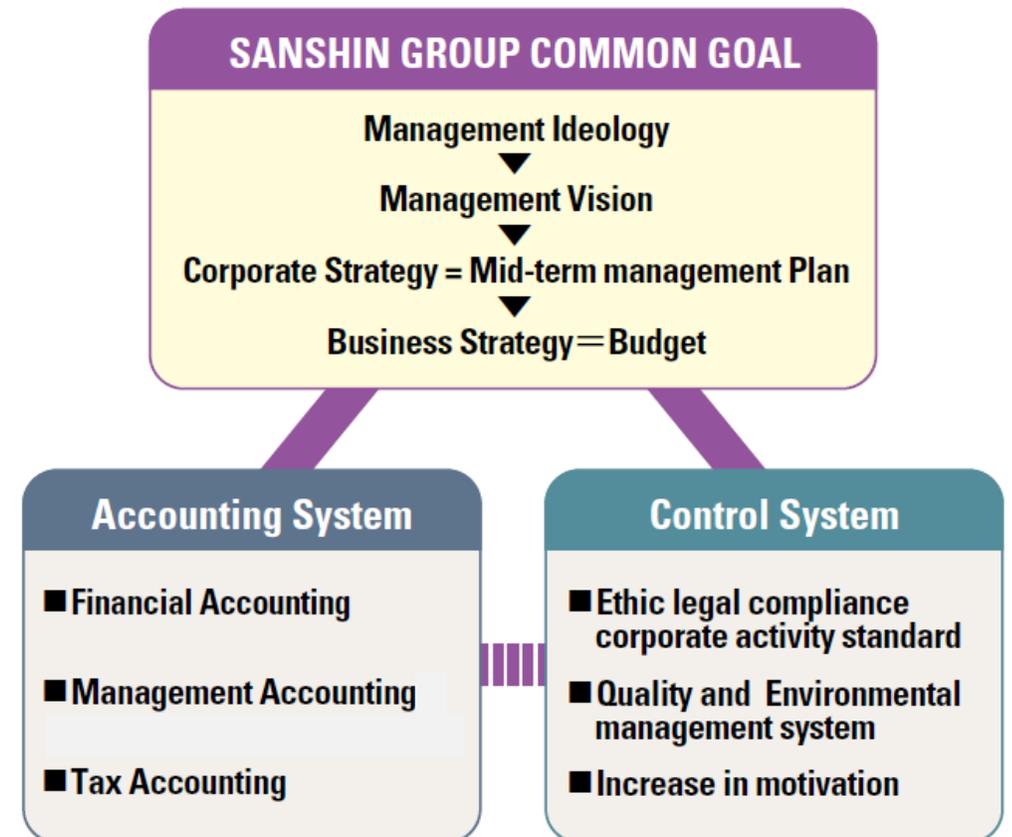
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

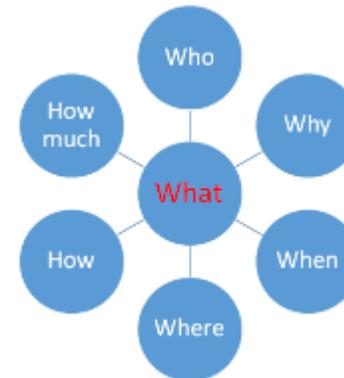
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

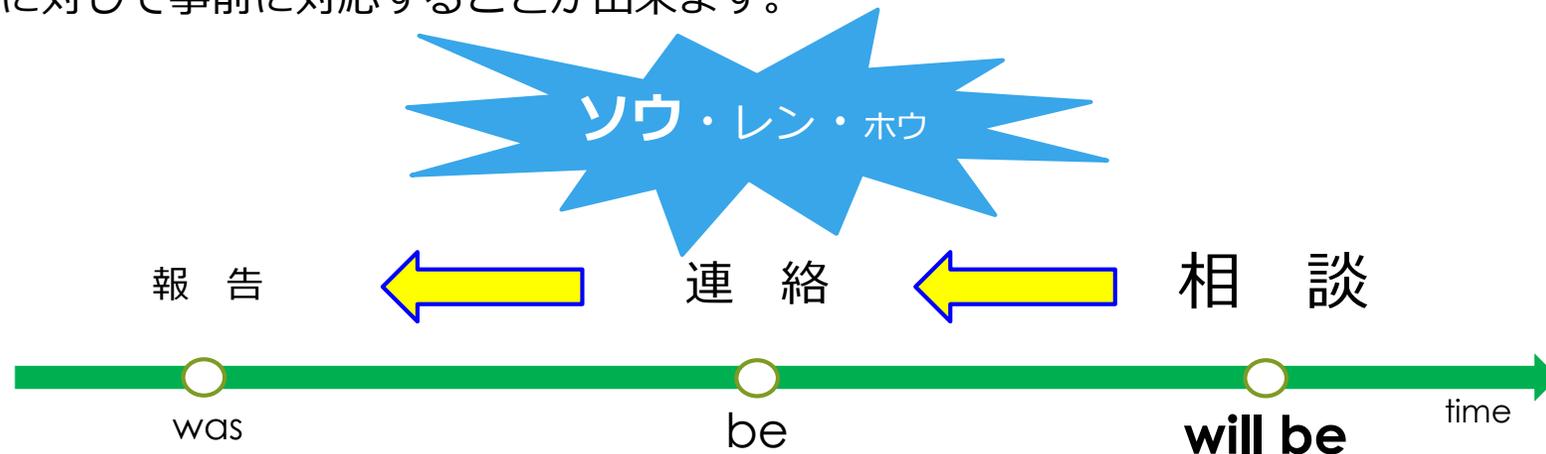


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

サンシン電気 営業管理課 Y.Y.

今年も1年ありがとうございました。今期はサンシン電気としてもコロナの影響はありましたが、事前のTelework環境の整備やBCP対策等により、被害は最小限に抑えられたのではないかと思います。実際、コロナ禍においても通常通り、もしくはそれ以上の成果を産み出すこともありました。今後も新たな生活様式・New normalの中で最大限の成果を得られるよう、本レポートがその一助になれば幸いです。来期もどうぞ宜しくお願い致します。